

令和8年2月定例舞鶴市教育委員会会議録

開会日時 令和8年2月13日（金） 午後1時30分～午後2時30分

場 所 市役所別館 4 1 3 会議室

出席委員 廣瀬教育長 稗田委員 田中委員 小川委員 相澤委員 吉岡委員

事務局職員 山下指導理事
松岡教育振興部長
後教育未来課長
日下部学校教育課長
守屋学校教育課指導担当課長
水嶋学校教育課主幹
森生涯学習部次長兼生涯学習推進課長
佐々木子育て応援課子育て支援係長
飯田乳幼児教育推進課主幹兼乳幼児教育センター所長
南教育総務課長
川北教育総務課総務係長

傍 聴 2名

1 開会

教育長 開会を宣告

2 令和8年1月定例教育委員会会議録 承認

教育長 会議録を会議に諮り、全員承認

3 諸報告

(1) 教育長報告

事務局から教育長の主な活動を報告

[質問・意見]

なし

(2) 各課報告

(教育総務課)

- ① 行事予定について
- ② 寄附の受納について（令和8年1月）
- ③ 後援の承認について（令和8年1月）

(学校教育課)

- ① 行事予定について

② 教育支援センター「明日葉」・「いじめ相談室」の1月の通級・相談等の状況について

(生涯学習推進課)

① 行事予定について

[質問・意見]

(稗田委員)

教育支援センター「明日葉」の年賀状の「はがき支援」の取組で、再び通級することにつながったとのこと。どれだけ効果が出るものか目に見えないけれど、取組を継続されていると思うが、このように「明日葉」のことを思い出し、もう一度行ってみようという行動につながることは非常に嬉しいことだと感じる。はがき支援や訪問支援など、成果の有無に関わらず粘り強く続けてもらっていることが、どこかで繋がっていくと感じた。

(守屋学校教育課指導担当課長)

「はがき支援」では、ぬり絵状になっている年賀状に色を付けて通級の開始日にもってくる子どももいて、通級するきっかけのひとつになっているのではないかと感じている。今回報告したケースでは、なかなか関係が持ててなかった子どもであったが、自分自身が「明日葉」に行ってみようという思いに至り通級に繋がった。地道な活動を継続しながら子どもたちに寄り添って対応していきたい。

4 議事

教育長より、令和8年2月13日提出の第1号議案「令和8年舞鶴市議会3月定例会提出予定議案に係る意見について」は、舞鶴市議会提案前の案件であるため、舞鶴市教育委員会会議規則第10条により非公開とする旨の提案があり、全会一致で決定する。

(以下、非公開)

(教育長)

第1号議案、令和8年2月13日提出の「令和8年舞鶴市議会3月定例会提出予定議案に係る意見について」、市長から教育委員会へ意見を聴取されている事項「令和8年度舞鶴市一般会計予算」及び「令和7年度舞鶴市一般会計補正予算（第9号）」について事務局から説明をお願いします。

(南教育総務課長)

令和8年舞鶴市議会3月定例会に提出を予定している議案について、地方教育行政の組織及び運営に関する法律第29条の規定により市長から意見を求められたので、異議ない旨を申し出ることについて提案するもの。

(1) 令和8年度舞鶴市一般会計予算

(南教育総務課長)

予算概要及び教育費全体について説明。

(日下部学校教育課長)

主な事務事業調に基づき「不登校支援等推進経費」について説明。

(教育未来課長)

主な事務事業調に基づき「学校規模適正化推進事業費」について説明。

(日下部学校教育課長)
主な事務事業調に基づき「豊かな学びを支える学校づくり推進事業費」について説明。

(南教育総務課長)
主な事務事業調に基づき「施設整備事業費(小学校・中学校)」について説明。

(日下部学校教育課長)
主な事務事業調に基づき「学校給食費無償化事業費(小学校・中学校)」について説明。

(南教育総務課長)
主な事務事業調に基づき「水泳指導委託事業費」について説明。

(日下部学校教育課長)
主な事務事業調に基づき「学校給食地場産物活用促進事業費(小学校・中学校)」について説明。

(南教育総務課長)
主な事務事業調に基づき「校舎等改修事業費(小学校・中学校)」について説明。

(日下部学校教育課長)
主な事務事業調に基づき「生徒主導型・学校生活向上プロジェクト事業費」について説明。

(飯田乳幼児教育推進課主幹兼乳幼児教育センター所長)
主な事務事業調に基づき「架け橋プログラム推進事業費」について説明。

(佐々木子育て応援課子育て支援係長)
主な事務事業調に基づき「こども・若者の居場所づくり支援事業費補助金」について説明。

(森生涯学習部次長兼生涯学習推進課長)
主な事務事業調に基づき「施設整備事業費(公民館)」及び「公民館マスタープラン策定事業費」について説明。

(後教育未来課長)
主な事務事業調に基づき「部活動地域展開推進事業費」について説明。

[質問・意見]
(相澤委員)

「架け橋プログラム推進事業費」について。架け橋プログラムは大切なプログラムだと考えている。京都教育大学の古賀松香教授が関わっている、本プログラムは重要であり、それぞれの地域で取り組んでいただいている。その中で、保育教諭と小学校教諭がともに学ぶことが大切だと思っているが、保護者への啓発についてはどのように考えておられるか。私が相談を受けているケースでは、小学校1年生の児童が「自分の思った通りではない授業だ。何で時間割は決まってるんだ。自分の好きなことがなぜできないんだ」と学校になかなか適応できないということがある。そのような意識を持つ子が増えてきているように感じている。スマートフォンなどで自分の好きな映像をずっと見ることも影響しているのかもしれない。「幼児期につけておきたい力」について、教諭だけでなく、保護者にもどのようにお伝えしていくのか。この辺りのところは、不登校の問題等にも関わってくると考えている。こうした点についても、内容に留意しながら進めていただきたいと思っている。

(飯田乳幼児教育推進課主幹兼乳幼児教育センター所長)

古賀教授が関わっておられる京都市をはじめ、幼保小の架け橋プログラムのモデル事業として、19の自治体が3年間取り組み、その成果等が報告されている。小学校側の成果としては、主体性を発揮する児童や友達と協働的に関わる児童が増加した、また、登校を渋る児童が減少したなどの報告もあり、重要な取組であると認識している。委員ご指摘のとおり、保護者への啓発については我々も課題と感じている。5歳児から1年生に切れ目なく円滑につなげるためにカリキュラムを作成したり、保育者と教師が研修等を通じて相互理解を深めたりすることが、本プログラムの大きな目的である。小学校教育側は、園で学んだことを小学校で活かし、また乳幼児教育側が小学校教育への見通しを持って保育を進めるというように、相互に充実させる必要もある。そのような内容を保護者に知ってもらうことで、安心して小学校へ入学してもらうことも重要である。今後、その辺りも取り組んでいきたいと考えている。

(相澤委員)

期待している。

(稗田委員)

全体の予算概要をみると、教育費に多くの予算が計上されており、伸び率も最大である。子どもたちの教育に多くの予算を投じていただいていることに感謝したい。

「生徒主導型・学校生活向上プロジェクト事業費」については、子どもたちが主体的に「もっとこうしたらいいのに」と取り組める内容である。総合的な学習の時間においては、自分たちの生活を改善しようとする挑戦が、予算的に提案するまでになってしまう現状がある。その中で、実際に予算を活用して行動に移すことに一石を投じていただける取組であると思う。子どもたちが実際にやってみるという見通しをたてることは、主体的な学びにもプラスになる事業であると思う。市内7つの中学校で、義務感ではなく、学びを自分たちの生活に活かしていく教育の大きな場面として、意欲的に取り組まれることを期待している。

また、公民館関係にも多くの予算が計上されている。私自身もまなびあむや西公民館を活用しており、舞鶴市には公民館を通じて学ぼうとする方が多くいらっしゃることを改めて感じている。公民館だよりを見ても、多種多様な学びのプログラムが提供されており、いつでも、誰でも、何歳からでも学べるまちづくりが進むことは非常に好ましいことだと思う。市民が生きがいづくりや絆作り、新たな学びができる機会を持つことは、ひいては現在進められている部活動の地域展開を多くの方が支えてくださる文化に繋がっていると感じる。公民館のマスタープランについても、期待を持って注視していきたい。

「水泳指導委託事業費」については、成果が多く合ったと思う。今年度は池内小学校で試行されたが、今後は対象が広がっていくことで、より課題や成果が見えてくるものとする。大きな学校での実施はなかなか難しいのではないかなと思うが、来年度の実施を経て、さらに検討されると思う。現時点における、見通しがあれば伺いたい。

(南教育総務課長)

今年度は、池内小学校を実証モデルとして、西舞鶴地区のプール事業者において実施した。今後、その内容を参考に、成果を活かしながら、令和8年度からは西舞鶴地区で3校、新たに東舞鶴地区の事業者においても3校実施する予定である。プールは建設から経過年数が長く老朽化が進んでいる現状がある。そこで、具体的には利用開始から40年程度が経過しているプールがあり、かつ事業者のマイクロバスを用いたクラス単位の移動を想定し、児童数100人程度の規模の小学校を選定している。まずは、これらの学校で実施していく。また継続して使用可能なプールについては、引き続き学校現場で活用する。令和8年度の実施結果から、送迎可能な人数規模や各小学校のプールの状態を精査し、対象校の追加が可能かなどを検討したうえで、令和9年度以降の展開につなげていきたい。

(相澤)

「生徒主導型・学校生活向上プロジェクト事業費」について、市内7つの中学校間でそれぞれ学びあう機会は設けないのか。「自校ではこのような取組をした」というようなプレゼンを行い、各校で学び合っただ次年度に繋げていくような場があれば、より活性化した取組になると思う。10万円を配って終わりという印象も受けるが、そのあたりの企画についてはどのように考えているか。

(日下部学校教育課長)

事業の実施方法は、全校に一律に配るのではなく、学校からのエントリーによる「手挙げ方式」とする。実施の意欲がある学校に予算を交付する方針である。提案いただいた取組について、互いに評価し刺激し合うことは相乗効果が見込めると考える。貴重なご意見に感謝する。

(廣瀬教育長)

ご意見を参考にさせてもらう。意見交換についても、子どもたちから「他校のことが知りたい」「このようなことがやりたい」という声が出てくればいいと思う。

(相澤委員)

プロジェクトチームのように各校から生徒を集めて、どのように運営していけばよいかといった点についても話し合いができて良い。オンラインでもできる。企画に夢がある取組だと感じている。

(廣瀬教育長)

予算の伸び率は35.5%、総額は55億円である。議会で承認がえられたら、この貴重な予算を舞鶴の教育を進めるために有効に使っていきたいと考えている。

(2)令和7年度舞鶴市一般会計補正予算（第9号）

(南教育総務課長)

主な事務事業調に基づき「施設整備事業費（小学校・中学校）」及び「校舎等改修事業費（小学校・中学校）」について説明。

[質問・意見]

なし

(教育長)

第1号議案を会議に諮り、全員異議無く承認。

5 その他

次回の定例教育委員会は、3月23日（月）午後2時から開催することを確認。

[質問・意見]

なし

6 閉会

教育長 閉会を宣告